



今回の内容：8月下旬～9月上中旬の薬剤散布・着色剤資使用例

ハダニ類・シンクイムシ類の重要防除期です。この時期の散布量は特に多めに設定してください。尚、気温が低下する8月末から黒星病の感染が再度活発化します。次年度密度抑制のため、9月末まで一定の間隔で薬剤散布を進めてください。

りんご 8月下旬の薬剤散布（定期）：前回より10～15日後

散布時期：8月20日～25日 *ハダニ類が発生している場合は前倒し散布へ

散布薬剤： 水	100%
展着剤	10ml
フイントフロアブル25	50ml（前日、4回）
劇イカズチWDG	66g（前日、2回）
オーソサイド水和剤	100g（前日、6回） *黒星病対策
オマイト水和剤	133g（3日前、1回） *注意：ナシ類登録なし

対象病虫害：輪紋病・炭疽病・褐斑病・斑点落葉病・すす点・すす斑病・黒星病
ハダニ類・シンクイムシ類・ハマキムシ類・キンモンホソガ・ギンモンハモグリガ

散布量：10㎡当り 600%

散布日：8月 日

散布量： %

お盆後（定期）

【注意事項】

- ① イカズチWDGは劇物登録薬剤です。購入の際は印鑑をお持ちください。
- ② オマイト水和剤はナシ類に登録がないので、飛散しないように注意する。
- ③ 機能性展着剤ササラ2000倍を使用すると薬液が葉裏によく広がり、薬液の乾きが向上する。
- ④ 中生種軟化防止対策：液状カルシウム資材「セルキープ」1,000倍を加用する。
- ⑤ 【花芽充実対策】葉友2,000倍を加用する（以降の回も同様）。 *詳しくは裏面

前号（8/1付）記載同内容

りんご 9月上中旬の薬剤散布（定期）：前回より15日後

散布時期：9月5日～10日 *秋雨前の予防散布

散布薬剤： 水	100%
展着剤	10ml
ストライド顆粒水和剤	66g（前日、3回）
ダントツ水溶剤	50g（前日、3回）

対象病虫害：炭そ病、すす点・すす斑病、褐斑病、斑点落葉病、黒星病
シンクイムシ類、カメムシ類、キンモンホソガ、ギンモンハモグリガ、コナカイガラムシ類、リンゴワタムシ

散布量：10㎡当り 600%

散布日：9月 日

散布量： %

秋雨前（定期）

【注意事項】

- ① ストライド顆粒水和剤は高温時（30℃以上）に散布すると薬害（葉焼け他）を生じる恐れがあるので、涼しい時間帯に散布する。
- ② ハダニ類対策：アカリタッチ乳剤1,000倍（前日、一）を加用する。尚、展着剤の次に混用する。
- ③ 機能性展着剤ササラ2000倍を使用すると薬液が葉裏によく広がり、薬液の乾きが向上する。

【重要】 秋の黒星病対策 2019

黒星病の感染は、真夏は一旦停滞しますが、秋に再び活発化します。市内各地で6月に感染したと見られる新梢先端葉に病斑が見られます。この被害葉は次年度の『黒星病の源』になります。秋季の対策を強化し、次年度の密度抑制を図ってください。

- ① 被害葉を早めに摘み取り、園外へ持ち出し、焼却・土中埋没等の処理を行う。
- ② 8月下旬～9月末までの薬剤散布を実施する。
- ③ 徒長枝除去等を行い、薬液の通りやすい環境を整備する ⇒ 秋季の薬剤散布量を通常より多めに設定する。
- ④ 被害果はできるだけ除去する ⇒ 直接的には次年度の伝染源になりませんが、着果量に余裕があればできるだけ除去する。

【重要】次項は今後栽培管理・着色資材使用例他記載しています。

➤ 参考：今後の栽培管理

- ストップール液剤は収穫開始予定の15～25日前に1回散布が基本です。また、極度の土壌乾燥下では効果は低減します。
- ストップール液剤は単用散布で展着剤を加用しない。また、薬害防止のため他品目には飛散しないように注意してください。

品種名	落下防止	収穫開始予想	備考
千秋	9月初旬 ストップール液剤 1,000 倍	9/20～	果肉先行注意。
秋映	9/10～15 頃 ストップール液剤 1,000 倍	10/1～	着色先行型。熟度重視の収穫徹底。
ジョナゴールド	9/10～15 頃 ストップール液剤 1,000 倍	10/5～	果肉先行注意。
世界一	9/10～15 頃 ストップール液剤 1,000 倍	10/5～	〃
紅玉	9/5～10 頃 ストップール液剤 1,000 倍	9/30～	早期酸抜け注意。
シナノゴールド	9/20～30 頃 ストップール液剤 1,000 倍	10/15～	平年落果の少ない園地の散布は不要。

➤ シナノスイートの芯カビ果の除去

- ◆ 時期：8月下旬～9/15 頃 *本格的な着色が始まる前に実施ください
- ◆ 特徴：①異常に地色が抜けた果実 ②早期着色果
- ◆ 収穫開始予想：10/10 頃（南部） 10/15 頃（北部） *果肉先行見込みです。着色上昇次第で前後します。

➤ 半無袋（ワックス袋）ふじの除袋について

- ◆ 時期：9/15～20 頃
- ◆ 注意点：極端な高温が続く場合は、上記日程より遅らせる。園地場所等によっても違います。不明な点は担当までお問い合わせください。

➤ りんご着色資材の使用例

- 対象：シナノスイート・ふじ等
- 下記資材は全て定期散布に混用可能です。選択により使用してください。詳しくは担当技術員までお問い合わせください。

商品名	使用目的	倍率	使用時期	上段：単価／規格 下段：500 ㊟薬剤費	農薬 混用
彩色甘味 (おすすめ！)	着色促進 糖度向上	1,000	9月上旬・9月中旬・10月初旬 (収穫予定30日前と15日前の2回連続散布が効果的)	2,700 円/500g 2,700 円/500 ㊟	可
モーニングエース	着色促進 品質向上	500	9月上旬・9月中旬・10月初旬 (収穫予定30日前と15日前の2回連続散布が効果的)	4,320 円/500ml 8,640 円/500 ㊟	可
ビビットレッド	着色促進 品質向上	500	9月上旬・9月中旬・10月初旬 (収穫予定30日前と15日前の2回連続散布が効果的)	1,399 円/1.2 kg 1,165 円/500 ㊟	可
葉友	着色促進 花芽充実	2,000	9月上旬・9月中旬・10月初旬 (収穫予定2カ月前から3回連続散布が効果的)	4,039 円/1 ㊟ 1,009 円/500 ㊟	可
メリット赤	着色促進 樹勢調節	300	9月上旬・9月中旬・10月初旬 (収穫予定2カ月前から3回連続散布が効果的)	7,815 円/6 ㊟ 2,168 円/500 ㊟	可

◆ 使用例

- ① 彩色甘味：9月上旬・下旬の2回連続で定期防除に混用散布 ⇒ シナノスイート等対象
- ② 彩色甘味：9月下旬・10月初旬の2回連続で定期防除に混用散布 ⇒ ふじ対象
- ③ モーニングエース：9月中旬・10月初旬（シルバー敷き前）に500倍で2回連続散布 ⇒ ふじ対象
- ④ メリット赤：9月上旬・中旬・下旬に300倍で3回連続散布 ⇒ ふじ・シナノスイート等対象
- ⑤ 葉友：9月上旬・中旬・下旬に2,000倍で3回連続散布 ⇒ ふじ・シナノスイート等対象

～ お知らせ ～ 【百年ふじの里構築へ】 【シナノリップで早生基盤再構築へ】

9/17 付けでりんご・もも部会を通じて生産拡大品種苗木の注文を取りまとめます。この機会に苗木導入を進めて生産基盤の若返りを図ってください。

果樹特報 No9 発行予定：9/17（火）

- ◆ 9月下旬（9/20～25）*秋映等最終
- ◆ 特別散布（9/30～10/5）*止め防除
- ◆ 着色資材使用例他

～お知らせ～ 園芸課技術員はスマートフォンを携帯しています。LINE 等で質問・要望受付中です。お気軽にお寄せください。